

## 第695回建設技術講習会 現場研修事業の概要

### 1 金沢港南地区無量寺ふ頭における既存岸壁耐震改良事業と金沢港機能強化整備事業 [北陸地整・石川県]

…………… 石川県金沢市

- ・金沢港は、石川県の重要港湾の一つ。令和2年6月に金沢港クルーズターミナルの供用を開始。
- ・国直轄による既存岸壁耐震改良事業と石川県による金沢港機能強化整備事業が連携して一体的に行うことで、金沢港の機能強化や新たな賑わいを創出。県内でも有数の利用者数を誇る。
- ・既存岸壁耐震改良事業では、施工性、経済性に優れた構造断面及び施工手順とすることで工程を大幅に短縮。
- ・機能強化事業では、岸壁の再整備により大型クルーズ船の接岸が可能となり、クルーズ旅客受入施設の確保及び既存上屋の移転・集約による物流の効率化を図った。



### 2 金沢外環状道路 海側幹線Ⅳ期区間 地方道改築事業 [石川県・金沢市] …………… 石川県金沢市

- ・金沢外環状道路海側幹線は、平成18年に全線供用した山側幹線と一体となって金沢都市圏の骨格を形成するとともに、加賀・金沢・能登をつなぐ、石川県の広域交流ネットワークの基盤を成す重要な道路。
- ・昨年11月に山側を暫定2車線で供用させたところであり、現在、完成4車線での供用に向けて海側の整備を進めている。
- ・視察箇所の「浅野川うみかん大橋」は、浅野川や北陸鉄道を跨ぐ約600mの橋梁であり、現在、下部工を施工している。



### 3 金沢城北市民運動公園整備事業「金沢スタジアム/金沢プール」 [金沢市] …………… 石川県金沢市

- ・金沢城北市民運動公園は、金沢市制百年記念事業として整備された、金沢市初の本格的な野球場及びサッカー場を備えた運動公園。
- ・新サッカー場「金沢スタジアム」は、北陸初のJリーグ基準を満たしたフットボール専用スタジアムとして、令和5年9月末に完成予定。風雨、雪からスタンド全体をカバーする屋根、夏期の通風に配慮した構造など、北陸の気候に合う環境と共生するスタジアム。(金沢スタジアムは外観の視察)
- ・金沢プールは、一般利用からトップアスリートまで多様なニーズに対応する施設。国際公認プールとしてのハイグレードな品質と、大会開催・一般利用・併用利用に配慮した高い利便性を持つ。特徴的な外装には、金沢市産スギの集成材を活用した木パネルを用いている。平成29年度完成。



### 4 金沢城公園整備事業 [石川県]

…………… 石川県金沢市

- ・金沢城公園は、平成13年に都市公園として開園。
- ・令和2年7月には、黒い海鼠漆喰が特徴の「鼠多門」が、明治期の焼失以来136年ぶりに往時の姿で復元された。あわせて、鼠多門と金谷出丸(現在の尾山神社境内)を結んでいた「鼠多門橋」は、往時と同じ位置に143年ぶりに再現された。
- ・木造復元された城郭建造物及び道路を跨ぐ木装橋の整備により、新たな景観や回遊性を創出している。
- ・現在、丸の内園地では、経年により変状の見られる石垣保全対策工事を行っている。

